

[[[[[[[[[[[STECO ECO-Magazine]]]]]]]]]]]

No. 072/2016

=====

環境改善・省エネルギーを妨げる「負のスパイラル」

=====

☆☆☆☆ 通算 2013年～2016年 第72号 ☆☆☆☆

【「負のスパイラル」を抜け出すことが最優先です。】

<%Name%>さん！省エネ・環境のエガちゃんです。

如何お過ごしでしょうか？

ついに2016年も師走を迎えました。

あと31日、皆様はどのようにお過ごしになるのでしょうか。

何よりも風邪にだけはご注意ください。

さて今日は、JETRO 上海代表処、JETRO 北京事務所の主催セミナー講師を担当させて頂きながら改めて感じた「日系企業の問題点」を中心に話を纏めてみたいと思います。

※若干長文となりますが、お許してください。

小生のセミナーに参加された事のある方であればご理解頂けると思いますが、小生はセミナーでは思ったことを単刀直入にお話しすることが殆どです。

何故なら、貴重なお時間を割いてご参加頂いている皆様に対し、中途半端で聞いても聞かなくても良かったと言う様なお話しをするのは大変失礼になると思っているからです。

ですので、いつも全力投球で小生の見たまま感じたままを語ろうと思っております。

かれこれ上海でセミナー講師を担当し既に6年以上の月日が経ちましたが、今もなおお声が掛かると言うことは、お陰様で何らか皆様に喜んで頂いているという証左だろうと勝手に考えております。(笑)

では、今日の本題に入ります。

昨今何度もお伝えしているように、中国政府の環境に対する厳しい政策は日に日にその度合いを強めております。

それと同時に、中々上手く行かない環境対策とその結果に対して焦りを感じている面もあることは事実です。

以下のページをご覧ください。

<http://mp.weixin.qq.com/s/VTcbE6XpBx4os-s1NmVDyA>

ここには、如何に日本が省エネや環境改善を達成しているかを研究した結果、日本人には「こだわり」があるのだと論じています。

つまり、一家庭から企業に至るまで、日本人は一旦始めたら徹底する民族であり、それが中国に足りないことではないかと言いつつ始めているのです。

ここには大陸と島国、男性脳と女性脳、狩猟民族主体と農耕民族主体、それぞれの国の成り立ち等その差異が大きな引き金になっているとは思いますが、一朝一夕では中々縮まらないお互いの違いを嘆いていると言っても良いでしょう。

しかし、それだけ日本の事を持ち上げてくれているにもかかわらず、現地の日本企業の環境対策は「お寒い」状況が続いております。大変残念です。これでは、日本ブランドの失墜に繋がってしまう恐れがあります。

以下の HP をご覧ください。

<http://www.sepb.gov.cn/fa/cms/shhj/index.htm>

上海市環境保護局の HP なのですが、環境違反企業のリストが公表されております。

この中に多くの現地日系企業が挙がっていることを果たして皆様はご存じでしょうか。

大変遺憾ですが、既に 50 社ほどの企業の違反内容と受けた罰則、そして法廷代表人の本名までがあからさまになっているのです。。

<%Name%>さん、この事はご存じでしたでしょうか？

因みに、この度 JETRO 上海代表処主催で行われた際の小生の資料が以下の HP よりダウンロードできますので、宜しかったらご覧ください。

この資料には、違反企業の中から日系企業だけを抜き出した

資料を添付してあります。

http://www.jetro.go.jp/mail5/u/1?p=pWnLK2c02AMwN5c_-ewydwZ

この資料中では披露していませんが、現地日系企業に於いて中々環境改善が進まないその理由の中に、「負のスパイラル」があったことが最近分かってきました。

「負のスパイラル」とは、以下の様な流れを言います。

1. 社内内部の体制不備（腐敗、無知、経験不足、任せっきり）
2. 初動ミス（取るべき対策が最初のボタンからずれてしまう）
3. 取り返しのつかない状況へ至る（解決しようがない）

もし、<%Name%>さんの企業に環境やエネルギーについての問題あるとするなら、まずこの「負のスパイラル」の存在を疑ってください。

そして、このスパイラルを脱する唯一の方法は、社外の全く利害関係の無い第三者に監査をさせ、問題を明確に抽出した上でその対策に素直に従うことしかありません。

財務資料においては必ず外部の「公認会計士」に数字の正しさを監査して貰うのと同様、環境やエネルギーについても同じ事を行うべきなのです。ここに巣くう「腐敗」を徹底して排除しない限り解決は遠い未来となってしまいます。

つまり、間違いない解決策は「公認環境省エネ第三方治理」企業に委託をすることなのです。

ちょっと長文となってしまいましたが、日本ブランドの失墜を避け、そして日系企業の経営問題を何とか解決したいという思いから今日のエコマガを綴りました。

何とぞご理解お願いいたします。

ご不明な点や質問などありましたらいつでもご連絡くださいませ。

お待ちしております。

中国政府第三方機構 「省エネ環境サービス機構」 批准
上海清環環保科技有限公司
えがしら

配信停止をご希望の場合は、大変お手数でございますが
このアドレスに返信にて空メールをお送りください。

※ 節能服務機構 EMC 事業者 批准番号：SHEMCS169 ※

STECO 上海清環環保科技有限公司

Sustainable Technology of Echology

〒200-235 上海市東漕河涇路 57 号 2 号楼 305-306 室

Tel: +86-21-5489-2707 Fax: +86-21-5489-2717

<http://www.steco.asia>

江頭利将 (Toshimasa Egashira)

E-mail: toshi@steco.asia